

2014年度から、これまでの体制をベースに改組した小委員会構成による活動がスタートしました。(詳細はHPの2013/10/17議事録をご参照ください)。本委員も2期4年任期で交代し、小委員会主査と委員も見直しました。より一層、活動の活性化を図って参りますので、今後ともご助言、ご支援をお願いいたします。

7月には春季学術研究会、9月は大会研究集会(研究協議会、PD)等の活動が予定されています。できるだけ多くの方々にご参加いただき、委員会活動を盛り上げたいと考えておりますので、お誘いあわせの上、ご参加下さいますようお願いいたします。また、学生をはじめご興味のある方々にお知らせいただければ幸いです。

### ■2014年度農村計画委員会春季学術研究会

#### 「住み続けられる農村の計画、被災地で何が可能か？」

東日本大震災から3年が経過し、被災地では移転先の造成工事が進み、一部の地域で災害公営住宅の入居や集団移転事業の宅地貸し出しが開始されている。移転によって地域コミュニティの継承が難しくなっている現状を受け止めながらも、かつての住み慣れた環境・共有空間や伝統的な生活文化を再評価し、豊かなコミュニティの創造を目指して、被災者らによる模索が各地で行われている。

被災地の多くは、農村地域である。沿岸部の風土や文化の違いによって、多様な地域が生まれ、それが魅力として価値を高めてきた。これからの縮退する社会にあって、人々が住み続けられる農村のあるべき姿を、我々はどう構築していけるのか。本シンポジウムでは、持続的な農村の復興の姿やそこに導く計画的手法について、現場で活躍する方々とともに考えていきたい。

日時：7月19日(土) 13:00～17:00

会場：東北工業大学一番町ロビー(4Fホール) 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1

#### プログラム

仙台平野部における集団移転事業、災害公営住宅整備の現状 (鈴木孝男、宮城大学)

コモンズを介した災害公営住宅の展開～岩沼市玉浦地区の事例から～

(手島浩之、日本建築家協会東北支部)

居久根集落の現地復興まちづくり～仙台市南蒲生の取り組みから～

(榎原進、(特活)都市デザインワークス)

環境配慮型住宅「紫波型エコハウス」の展開 (竹内昌義、東北芸術工科大学)

参加と成熟～公営住宅における住み手主体の設計意思決定と住宅地運営～

(重村力、神奈川大学)

まとめ 三橋伸夫(宇都宮大学)

- \* 7月20日(日) 宮城県山元町の視察と住民との意見交換または学生参加ワークショップを企画中

## ■2014年度大会研究集会

### ・研究協議会

#### 「住み継がれるカタチーフロンティアとしての農山漁村ー」

限界集落や消滅集落、これは何も農山漁村集落に限ったことではなく、地方小都市などの衰退も顕著になってきており、国土保全を考える上で、これら集住地の持続は重要な課題である。ここでは空き家を有効活用し新規居住者を招き入れることを契機として地域の維持・継承を目指す事例を中心に、社会的主体としての居住者を継承していく新しいカタチについて議論する。

日時：9月13日（土）13：30～17：00

### ・PD

#### 「文化的景観のまもりかた～営みの真実性はどのように保たれるのか」

文化的景観保全は各国で広がり、市街地・集落、農林漁業地、自然地まで多様な営みの場を広く包含する例も現れている。多様な営みの真実性はどのように保たれ得るのか、実践的な保全を稼働させる方法を考察する。

日時：9月12日（金）13：30～17：00

## ■大会学術講演会若手優秀発表について

昨年、試行しました若手優秀発表は学術推進委員会で正式に位置づけられました。昨年の選考結果はHPの大会関連に掲載されておりますのでご確認ください。今年度も以下の要領で実施いたしますので、発表する学生に周知くださるようお願いいたします。

### 審査対象者

講演会の開催年度末時点で満30歳以下の者の内、審査にエントリー\*した者とする。

\*対象者にメールでエントリーの意思確認を行う。

### 審査方法

梗概と発表の内容で判断する。

審査員（主査幹事）2名が半日セッションを担当し、1割を目処に候補者を選出する。

本委員会において候補者の中から顕彰を決定する。

### 顕彰と公表

農村計画委員会のHP上で、受賞者の氏名、所属、プレゼンテーションの題目を公表する。

## ■2014年度活動計画

### ・活動体制<敬称略>

委員長 岡田知子（西日本工業大学）

幹事 神吉紀世子（京都大学）

同 栗原伸治（日本大学）

同 北澤大佑（JARUS）

集落復興小委員会

主査：後藤隆太郎（佐賀大学）

農山漁村地域組織小委員会

主査：熊野稔（徳山工業高等専門学校）

農山漁村文化景観小委員会	主査：神吉紀世子（京都大学）
農村環境共生小委員会	主査：藤沢直樹（日本大学）
集落居住小委員会	主査：山崎義人（兵庫県立大学）
農村・国土計画小委員会	主査：柳田良造（岐阜市立女子短期大学）
ルーラルネットWG	主査：岡田知子（西日本工業大学）
アジア農村フォーラムWG	主査：栗原伸治（日本大学）

#### ・委員会予算

総計	1, 123, 000円（前年比：マイナス 89,000円）
内訳 本委員会	463, 000円（WG含む）
小委員会	115, 000円

#### ・その他（委員委嘱関係・敬称略）

奨励賞選考委員会委員候補	糸長浩司（日本大学）
論文集委員会委員	清水肇（琉球大学）、工藤和美（明石高専）、北澤大佑（JARUS）
技術報告集委員会	柴田祐（熊本県立大学）、栗原伸治（日本大学）

#### ・主な年間活動スケジュール

4/25	大会プログラム編成会議（終了） 拡大主査幹事会（終了）
7/19	<b>春季学術研究会</b> 10:00～12:00 <u>本委員会（ご都合がよければ皆さんご参加ください）</u> 13:00～17:00 春季学術研究会：東北工業大学一番町ロビー 18:00～ 懇親会
7/20	春季学術研究会見学会またはワークショップ
9/12	<b>大会</b> 神戸大学（9/14まで） 12:00～13:30 <u>本委員会（ご都合がよければ皆さんご参加ください）</u> 13:30～17:00 PD
9/13	13:30～17:00 <b>研究協議会</b> 夕方～ 懇親会
*	<b>日韓研究交流会</b> （予定） * 10月か11月の予定、早ければ夏
11/下旬	<u>本委員会</u> （予定）
2/	<u>本委員会</u> （予定）
3/	委員会活動報告会